

Course number		U-LAS04 20018 LJ46									
Course title (and course title in English)		神経心理学 I Neuropsychology I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,TSUKIURA TAKASHI					
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Pedagogy, Psychology and Sociology(Issues)					
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・First semester	
Days and periods		Mon.1		Target year		All students		Eligible students		For all majors	
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)											
[Overview and purpose of the course]											
脳の様々な疾患によってヒトの脳が損傷されると、その損傷した領域の違いによって、言語や行為、記憶などの様々なタイプの高次脳機能障害が起こる。本講義では、これらの高次脳機能障害を理解することによって、脳を媒介とした心理メカニズムを理解することを目指す。											
[Course objectives]											
・ヒトのさまざまな認知機能が脳を媒体としてどのように表現されているのかについて、基礎科学としての認知神経科学についての理解を深める。 ・脳の疾患によって起こる様々な高次脳機能の障害についての臨床的観点からの知識を習得する。 ・脳を介して心の働きを客観的に理解することを通じて、自らを客観的にみつめる力を体得する。											
[Course schedule and contents)]											
ヒトの高次な認知機能は脳を媒体としているが、脳が様々な疾患（脳梗塞・脳出血・変性疾患等）によって（局所的に）損傷されると、その損傷領域の違いによって様々なタイプの高次脳機能障害が起こる。その事実は、損傷した領域と障害を受けた脳機能との間の相関関係を我々に示し、そこから脳を媒体とした認知機能のメカニズムを推測することができるようになる。本講義では、様々な高次脳機能障害を解説することによってその病態を臨床的に理解し、そこからヒトの高次な認知機能の基盤となる脳内メカニズムを理解することを目指す。											
講義で扱う内容は概ね以下のとおり。以下のテーマについて、1テーマあたり1～2週の授業を行う。順番や番号は目安であり、多少変更する可能性もあります。											
1. 授業のガイダンスと神経心理学の方法の概説 2. 基本的脳解剖 3. 視覚認知の障害 4. 行為の障害 5. 言語の障害① 6. 言語の障害② 7. 記憶の障害① 8. 記憶の障害② 9. 感情と情動の障害 10. 前頭葉機能の障害 11. 神経心理学的検査①											
Continue to 神経心理学 I (2) ↓ ↓ ↓											

神経心理学Ⅰ(2)

- 1 2. 神経心理学的検査②
- 1 3. 「知・情・意」の神経心理学
- 1 4. まとめ
- 1 5. 期末試験
- 1 6. フィードバック（フィードバック方法は別途連絡します）

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

原則的に、試験（100点）によって評価する。

[Textbooks]

授業中にプリントを配布する。配布資料についてはKULASISにもアップするので、自習の際に活用すること。

[References, etc.]

（References, etc.）

石合純夫『高次脳機能障害学（第2版）』（医歯薬出版）

山鳥 重『神経心理学入門』（医学書院）

河村満・高橋伸佳『高次脳機能障害の症候辞典』（医歯薬出版）

[Study outside of class (preparation and review)]

授業中に別途指示する。

[Other information (office hours, etc.)]

履修希望者が教室定員を大きく超える場合は履修制限を行う。履修制限の方法は別途指示する。
オフィスアワーについては、KULASISを参照のこと。